

「大阪21世紀計画」30年の軌跡

1983年10月、「美しく品格ある人間の住みかを作ろう」という長期的かつ壮大な「大阪21世紀計画」がスタートしました。以来30年、その推進母体として産学官が一体となって設立された大阪21世紀協会は、関西・大阪を文化によって活性化させるさまざまな提言や活動を推進してきました。ここでは、その一部をご紹介します。

1982年(昭和57年)～1992年(平成4年)

1982年 財団法人大阪21世紀協会設立(4月8日)
(松下幸之助会長、古川進理事長)

1983年 大阪21世紀計画開幕式(10月8日)

皇太子殿下・同妃殿下(現天皇・皇后両陛下)ご臨席の



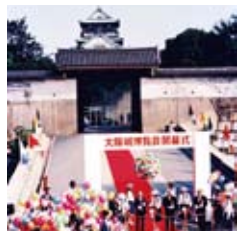
もと、大阪城ホールに国内外から9,000人が参列。松下幸之助会長が大阪21世紀計画のスタートを宣言しました。



大阪21世紀計画開幕式

1983年 大阪築城400年まつり

大阪21世紀計画のスタートを飾る「大阪築城400年まつり」のメインイベント「大阪城博覧会」を開催。国内外110隊・15,000人が参加した「オープニングパレード」は、以後「御堂筋パレード」として2007年まで続けられました。



大阪城博覧会(1983.10.1～11.30/入場者532万人)



オープニングパレード(1983.10.9/沿道観衆130万人)

1987年 天王寺博覧会(8月1日～11月8日)

大阪市市制100周年(1989年)の記念事業として協会が主催。関西国際空港開港(1994年)で大阪の南の玄関口となる天王寺・阿倍野地区の整備を誘発しました。



天王寺博覧会(入場者247万人)

1990年 「国際花と緑の博覧会」誘致に貢献

政府による「緑の3倍増構想」の一環で計画された「花博」の大阪開催に向け、協会は当時の芦原義重会長(万博記念協会会長)をはじめ、副会長の宇野収関西経済連合会会長、佐治敬三大阪商工会議所会頭、岸昌大阪府知事、西尾正也大阪市長、中塚昌胤理事長(元NHK副会長)が中央政財界へ積極的な誘致活動を展開。浦安市や川口市などを抑えて誘致に導きました。協会スタッフは全国の園芸関係者を訪ねて出展や観客動員に全力をあげ、大阪は自然と環境に深い関心をもつ文化都市であることを国内外にアピールしました。



国際花と緑の博覧会
(1990.4.1～9.30/入場者2,300万人)

1993年(平成5年)～2001年(平成13年)

1993年 関空開港で大阪・関西をアピール

この年、行政や経済団体などによる「関西国際開港記念キャンペーン推進協議会」が発足。協会が事務局となり、関西国際空港開港(1994年)をはさむ前後3年間、大阪・関西の知名度を上げるさまざまなキャンペーンを展開しました。



大阪ウォーターフロント・トライアスロン国際大会(1994.6/りんくうタウン一帯)



アルフォンソ・ミュシャ展
(1994.4/堺市博物館)

1998年 大阪21世紀塾

梅棹忠夫氏(当時・協会企画委員会座長)を名誉塾頭として「大阪21世紀塾」を開塾。第一級の知との交流を通して、21世紀を生き抜く人間力の涵養を目指しました。



梅棹忠夫氏(1920～2010)



大阪21世紀塾(1998～2006)

30周年

2000～2001年 世紀越えイベント

2000年大晦日、大阪城公園・太陽の広場を中心に実施。0時の時報と同時に大阪城天守閣からレーザー光が放たれ、世紀越えの瞬間を盛り上げました。2001年元日には大阪城ホールで「21世紀開幕式典」を開催。大阪フィルハーモニー交響楽団などが阪大オーケストラに会し、新世紀の到来を盛り上げました。



大阪城カウントダウンフェスティバル (2000.12.31)



21世紀開幕式典 (2001.1.1)

2002年(平成14年)～2012年(平成24年)

2002年 「水の都大阪再生の戦略(案)」を提案・推進

政府の都市再生本部で承認された「水都大阪再生計画(大阪府・大阪市)」のマスタープランとして協会が提案。シンボルイベント(水都大阪2009)開催など、ソフト先導型のハード整備を推進しました。



「花と緑・光と水懇話会(2002.12.18)」で提案

2004年 大阪ブランドコミッティによる活動(～'07年)

大阪にあるブランド資源を掘り起こし、磨きをかけ、発信する、オール大阪の精神作興運動。「桜の会・平成の通り抜け」「クールスタイル(クールビズ)」などの実現につながりました。現在は協会がブランディング活動を継承しています。



「桜の会・平成の通り抜け」植樹式 (2005.1.8/毛馬桜宮公園)



クールスタイルの発表 (2005.5.17/大阪国際会議場)

2004年 「お花見水上カフェ」を開設

大阪初の川開きイベント「水都ルネサンス大阪」に連動し、

大川にてオープン。2007年まで続けられ、多くの人々が春の水辺を楽しみました。

お花見水上カフェ(2004.4/大川・天満橋北詰)



2007年 御堂筋完成70周年記念パレード

ミュージカル風の演出で大阪の歴史を表現。市民参加も取り入れ、143団体・約9,000人の参加者と125万人の沿道観衆で賑わいました。



昔懐かしいTV番組の「とんま天狗」号

2009年 「水都大阪2009」開催

協会提案による水都大阪のシンボルイベント。最終日には大川・八軒家浜棧橋を拠点にOSAKA水上音楽パレードを開催。御堂筋パレードに代わる高校吹奏楽部の発表の場として現在も継続しています。



河川のゴミで作った「金チヌ」(水都大阪2009・2009.8.22～10.12)



OSAKA水上音楽パレード(2010.10.3)

2010年 「関西・大阪文化力会議」開催

関西で活躍する文化人、学界・経済界などのオピニオンリーダーや市民、NPO、メセナ、行政関係者らによる文化会議を開催。関西・大阪が抱える文化課題を抽出・発信し、関西ひいては日本を活性化する方策を探りました。以後、現在も継続して開催。



関西・大阪文化力会議 (2012.4.25/大阪国際会議場)

2010年 平成OSAKA天の川伝説(P17参照)

2012年 公益財団法人 関西・大阪21世紀協会として新たにスタート。同年、大阪城サマーフェスティバルの新企画「オープニング・ガラ」(P9参照)を開催。